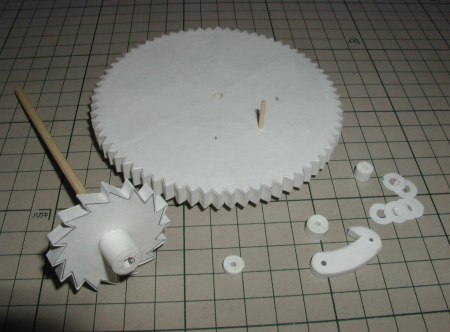
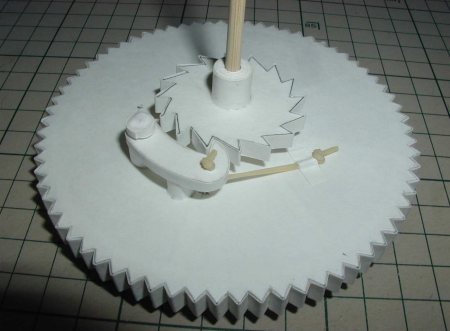
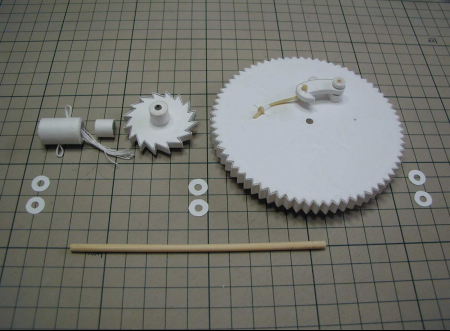
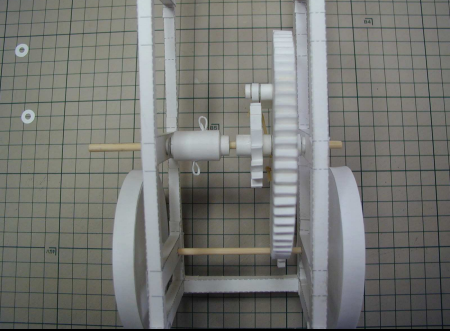
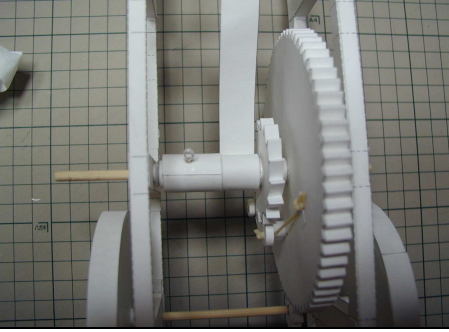


4. 主軸の製作

4-1		<ol style="list-style-type: none"> 1) ラチェットは、歯形に切り抜いたものを中心位置を合わせるように張り合わせ、各歯の部分に側面板を貼り、軸受けを接着します。 2) ラチェット爪は、爪形に切り抜いたものを回転中心を合わせるよう貼り合わせ、その外周にテープ上に切った帯を接着します。 3) ラチェット爪の回転軸となるφ2の竹ヒゴを大歯車の所定の位置に穴を開けて差込み、接着固定する。
4-2		<ol style="list-style-type: none"> 1) 大歯車とラチェットに回転軸を通し、仮組をします。 2) ラチェット爪の回転軸にスペーサとなる軸受けを差し込み接着し、ワッシャー二枚を介しラチェット爪をセットし、再びワッシャー二枚を介し固定用の軸受けを差し込み接着固定する。 3) ラチェットに爪がかかる位置に、爪受けとなるスペーサ用の軸受けを大歯車に接着する。 4) ラチェットに爪がかかるように与圧用のゴムを張ります。
4-3		<ol style="list-style-type: none"> 1) 主軸となる各部品です。上段左はゴム巻取り部のゴムかけとなります。回転軸となるたけヒゴは紙やすりで仕上げておきます。
4-4		<ol style="list-style-type: none"> 1) 写真のような順番で回転軸に各部品を通していきます。このとき軸受けと大歯車の間、大歯車とラチェットの間、ゴム巻取り部と軸受けの間には、各々ワッシャーを二枚ずつ挿入しておきます。 2) 大歯車は回転軸に対して自由に回転できる状態とし、ラチェットと大歯車はなるべく右に寄せ、ゴム巻取り部はなるべく左に寄せた状態としそれぞれ回転軸と接着固定します。このとき主軸は左右にガタがなく自由に回転できる状態としておきます。
4-5		<ol style="list-style-type: none"> 1) ラチェットとゴム巻取り部が回転軸としっかり接着されたことを確認した後、ラチェットとゴム巻取り部を連結するように、テープ状に切った帯を接着しながら巻きつけていきます。